

理事会議事録抄本

令和 5 年 5 月 25 日(木)

学校法人 獨協学園

理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和5年5月25日(木) 午後1時から午後3時50分まで
1. 場 所 獨協学園本部会議室
1. 理事総数 27人(定数15人以上29人以内 寄附行為第5条第1項第1号)
1. 出席理事 25人

吉田謙一郎	山路 朝彦	児嶋 一男	油谷 康史
平田 幸一	種市 洋	麻生 好正	奥田 泰久
坂本 悦男	井上 清美	道谷 卓	藤原 正彦
上田 善彦	尾花 信行	佐藤 均	大西 純一
千木良眞保	木原 正義	岡崎 和彦	東 孝博
猪口 雄二	小代 晶弘	角藤 和久	鈴木 一郎
田中壮一郎			

1. 欠席理事 2人

岡田 兼明 和田 達也

1. 出席監事 3人

桑原 克也 沼尾 利郎 岡原 宏一

1. 陪 席 者 8人

瀬戸 浩勝	内記 博隆	緒方 雅史	西澤 淳
林 龍太郎	高橋 浩昭	島貫 健二	白井 義晴

1. 会議成立確認

1. 議事録署名委員選任

1. 前回及び前々回議事録確認

1. 議 事

学事報告

議 案

第1号議案 獨協大学大学院学則の一部改正について（一部専修コースの募集停止及び廃止並びに収容定員削減関係）

第2号議案 ～ 第8号議案（省 略）

報告事項

(1) ～ (5)（省 略）

当面の諸課題について（省 略）

その他（省 略）

開 会

吉田理事長（以下「議長」）は議長席に着き、午後1時理事会の開会を宣言した。

（以下省略）

1. 会議成立確認

佐藤学園本部事務局長から、以下のとおり報告があった。

理事総数 27 名、理事会成立要件である理事総数の 3 分の 2 は 18 名で、本日は理事 25 名が出席している。また、桑原常任監事及び岡原監事の出席を得ている。

議長は、本日の理事会が適正に成立していることを宣言した。程なく沼尾監事が到着した。

1. 議事録署名委員選任

議長が本日の理事会議事録署名委員の選任について諮り、第 1 号理事から山路理事、第 2 号理事から鈴木理事、第 3 号理事から平田理事及び第 4 号理事から田中理事が選任された。併せて、本日出席の監事 3 名に対しても議事録への署名が依頼された。

1. 前回及び前々回議事録確認

議長が前回及び前々回議事録について確認を求め、後刻異議なく確認された。

1. 議事

学事報告 (省 略)

議 案

第 1 号議案 獨協大学大学院学則の一部改正について (一部専修コースの募集停止及び廃止並びに収容定員削減関係)

山路獨協大学学長から、資料に基づき以下のとおり説明があった。

大学基準協会による第 3 期大学認証評価において、収容定員に対する在籍学生比率が低いため、大学院の定員管理を徹底するよう改善が求められた。これを受けて状況改善のため、収容定員を見直し、併せて在籍学生のいない経済・経営情報専攻情報専修コースの募集停止及び廃止を行い、大学院学則の一部を改正する。収容定員の見直しについては、法学研究科博士前期課程法律学専攻の入学定員 (10 名→5 名)・収容定員 (20 名→10 名)、外国語学研究科博士前期課程ドイツ語専攻の入学定員 (3 名→2 名)・収容定員 (6 名→4 名) 等、詳細は資料のとおりである。なお、改正施行年月日は令和 6 年 4 月 1 日である。

説明後、議長から質問、意見等求めたが特になく、本件について諮った結果、異議なくこれを承認議決した。

第 2 号議案 ～ 第 8 号議案 (省 略)

報告事項

(1) ～ (5) (省 略)

当面の諸課題について (省 略)

その他（省略）

閉会

議長は、午後3時50分議事の終了を告げ、理事会の閉会を宣言した。

以上

令和5年5月25日

議長 吉田 謙一郎 印
理事長

理事 山路 朝彦 印

理事 鈴木 一郎 印

理事 平田 幸一 印

理事 田中 壮一郎 印

常任監事 桑原 克也 印

監事 沼尾 利郎 印

監事 岡原 宏一 印

この理事会議事録抄本は原本と相違ありません

学校法人 獨協学園

理事長 吉田 謙一郎



獨協大学大学院学則の一部改正について
(一部専修コースの募集停止及び廃止並びに収容定員削減関係) (案)

1. 改正理由

本学では、公益財団法人大学基準協会による第 3 期大学認証評価において、収容定員に対する在籍学生数比率が低いため、大学院の定員管理を徹底するよう、改善が求められた。

これを受けて状況を改善するため、収容定員を見直し、併せて経済・経営情報専攻情報専修コースの募集停止及び廃止を行うこととし、獨協大学大学院学則の一部を改正する。

2. 改正事項

第 3 条表中、経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コースを削る。
第 5 条表中、法学研究科博士前期課程法律学専攻、外国語学研究科博士前期課程ドイツ語学専攻、英語学専攻、英語学専攻英語教育専修コース、フランス語学専攻、博士後期課程ドイツ語学専攻、英語学専攻、経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻経済・経営コース、情報コース及び経済学研究科博士後期課程経済・経営情報専攻の入学定員及び収容定員を変更し、経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コースを削る。

第 6 条第 4 項中、「および経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コース」を削る。

第 10 条第 4 項中、「経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コース 36 単位以上」を削る。

別表Ⅳ-1-3 を削る。

(別紙、獨協大学大学院学則の一部を改正する学則 (案) 及び新旧対照表参照)

3. 改正施行年月日

令和 6 年 4 月 1 日

以上

獨協大学大学院学則の一部を改正する学則（案）

獨協大学大学院学則（昭和 53 年 4 月 1 日制定）の一部を次のように改正する。

第 3 条表中、「経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コース」を削る。

第 5 条表中、法学研究科博士前期課程法律学専攻の入学定員「10 名」を「5 名」とし、収容定員「20 名」を「10 名」に、外国語学研究科博士前期課程ドイツ語学専攻の入学定員「3 名」を「2 名」とし、収容定員「6 名」を「4 名」に、英語学専攻と英語学専攻英語教育専修コースの入学定員「9 名」を「6 名」とし、収容定員「18 名」を「12 名」に、フランス語学専攻の入学定員「3 名」を「2 名」とし、収容定員「6 名」を「4 名」に、外国語学研究科博士後期課程ドイツ語学専攻の入学定員「2 名」を「1 名」とし、収容定員「6 名」を「3 名」に、英語学専攻の入学定員「3 名」を「2 名」とし、収容定員「9 名」を「6 名」に、経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻経済・経営コースの入学定員「12 名」を「2 名」とし、収容定員「24 名」を「4 名」に、経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報コースの入学定員「2 名」を「1 名」とし、収容定員「4 名」を「2 名」に、経済学研究科博士後期課程経済・経営情報専攻の入学定員「5 名」を「1 名」とし、収容定員「15 名」を「3 名」に改める。

「経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コース」を削る。

第 6 条第 4 項中、「および経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コース」を削る。

第 10 条第 4 項中、「経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コース 36 単位以上」を削る。

別表Ⅳ－1－3 を削る。

本則の次に、次の附則を加える。

附 則 （令和 5 年獨大学則第 号）

本学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

(3) 変更部分の新旧対照表

獨協大学大学院学則の一部を改正する新旧対照表

新				旧			
獨協大学大学院学則 昭和52年4月1日				獨協大学大学院学則 昭和52年4月1日			
改正 昭和53年4月1日 令和3年4月1日		略 令和5年 月 日		改正 昭和53年4月1日 令和3年4月1日		略	
第1章 総則				第1章 総則			
第1条～第2条 略 (課程・組織)				第1条～第2条 略 (課程・組織)			
第3条 各研究科に次の課程、専攻、コースをおく。				第3条 各研究科に次の課程、専攻、コースをおく。			
研究科	課程	専攻・コース		研究科	課程	専攻・コース	
法学研究科	博士前期課程	法律学専攻		法学研究科	博士前期課程	法律学専攻	
	博士後期課程				博士前期課程		
外国語学研究科	博士前期課程	ドイツ語学専攻		外国語学研究科		博士前期課程	ドイツ語学専攻
		英語学専攻			英語学専攻		
		英語学専攻 英語教育専修コース			英語学専攻 英語教育専修コース		
		フランス語学専攻			フランス語学専攻		
	博士後期課程	ドイツ語学専攻			博士後期課程	ドイツ語学専攻	
		英語学専攻				英語学専攻	
フランス語学専攻		フランス語学専攻					
経済学研究科	博士前期課程	経済・経営情報専攻	経済・経営コース	経済学研究科	博士前期課程	経済・経営情報専攻	経済・経営コース
		削る				情報コース	
	博士後期課程	経済・経営情報専攻			博士後期課程	経済・経営情報専攻	
第4条 略				第4条 略			

新					旧						
(収容定員)					(収容定員)						
第5条 本大学院における各研究科の収容定員は、次のとおりとする。					第5条 本大学院における各研究科の収容定員は、次のとおりとする。						
研究科	課程	専攻・コース	入学定員	収容定員	研究科	課程	専攻・コース	入学定員	収容定員		
法学研究科	博士前期課程	法律学専攻	<u>5</u>	<u>10</u>	法学研究科	博士前期課程	法律学専攻	<u>10</u>	<u>20</u>		
	博士後期課程		3	9		博士後期課程		3	9		
外国語学研究科	博士前期課程	ドイツ語学専攻	<u>2</u>	<u>4</u>	外国語学研究科	博士前期課程	ドイツ語学専攻	<u>3</u>	<u>6</u>		
		英語学専攻	<u>6</u>	<u>12</u>			英語学専攻	<u>9</u>	<u>18</u>		
		英語学専攻 英語教育専修コース									
	フランス語学専攻	<u>2</u>	<u>4</u>	フランス語学専攻		<u>3</u>	<u>6</u>				
	博士後期課程	ドイツ語学専攻	<u>1</u>	<u>3</u>		博士後期課程	ドイツ語学専攻	<u>2</u>	<u>6</u>		
		英語学専攻	<u>2</u>	<u>6</u>			英語学専攻	<u>3</u>	<u>9</u>		
フランス語学専攻		1	3	フランス語学専攻	1		3				
経済学研究科	博士前期課程	経済・経営情報専攻	経済・経営コース	<u>2</u>	<u>4</u>	経済学研究科	博士前期課程	経済・経営情報専攻	経済・経営コース	<u>12</u>	<u>24</u>
			情報コース	<u>1</u>	<u>2</u>				情報コース	<u>2</u>	<u>4</u>
	削る		削る	削る	削る		削る		削る	削る	削る
	博士後期課程	経済・経営情報専攻	<u>1</u>	<u>3</u>	博士後期課程		経済・経営情報専攻	<u>5</u>	<u>15</u>		
(標準修業年限および授業形態等)					(標準修業年限および授業形態等)						
第6条 本大学院の標準修業年限は、次のとおりとする。					第6条 本大学院の標準修業年限は、次のとおりとする。						
博士課程5年（前期2年、後期3年）					博士課程5年（前期2年、後期3年）						
2 博士課程は、これを前期2年および後期3年の課程に区分する。					2 博士課程は、これを前期2年および後期3年の課程に区分する。						
3 前項の前期2年の課程は「博士前期課程」（「修士課程」）といい、後期3年の課程は「博士後期課程」（「博士課程」）という。					3 前項の前期2年の課程は「博士前期課程」（「修士課程」）といい、後期3年の課程は「博士後期課程」（「博士課程」）という。						
4 前3項の規定にかかわらず、外国語学研究科博士前期課程英語学専攻英語教育専修コース（以下「1年コース」という。）は、標準修業年限を1年とすることができる。					4 前3項の規定にかかわらず、外国語学研究科博士前期課程英語学専攻英語教育専修コースおよび経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻情報専修コース（以下「1年コース」という。）は、標準修業年限を1年とすることができる。						
5 削除					5 削除						
6 経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻は、昼夜開講制とする。					6 経済学研究科博士前期課程経済・経営情報専攻は、昼夜開講制とする。						
7 第4項および第6項に掲げるコース、専攻においては、主として実務経験					7 第4項および第6項に掲げるコース、専攻においては、主として実務経験						

新	旧																				
<p>を有する者に対して、昼間と併せて夜間その他特定の時間、時期において授業または研究指導等の適切な方法により教育を行う。</p> <p>第7条～第9条 略 (履修方法)</p> <p>第10条 博士前期課程の学生は、その在学期間中に所要の授業科目を履修し、32単位以上を修得しなければならない。</p> <p>2 博士後期課程の学生は、別に定める研究指導を受けるものとする。</p> <p>3 履修方法については、各研究科委員会の定めるところによる。</p> <p>4 第1項の規定にかかわらず、1年コースにおいては、次に定める単位数を修得しなければならない。</p> <p>外国語学研究科 博士前期課程 英語学専攻 英語教育専修コース 30単位以上</p> <p><u>削る</u></p> <p>第11条～第47条 略 <u>附 則 (令和5年獨大学則第 号)</u> <u>本学則は、令和6年4月1日から施行する。</u></p> <p>別表I—1～別表IV—1—2 略 <u>削る</u></p>	<p>を有する者に対して、昼間と併せて夜間その他特定の時間、時期において授業または研究指導等の適切な方法により教育を行う。</p> <p>第7条～第9条 略 (履修方法)</p> <p>第10条 博士前期課程の学生は、その在学期間中に所要の授業科目を履修し、32単位以上を修得しなければならない。</p> <p>2 博士後期課程の学生は、別に定める研究指導を受けるものとする。</p> <p>3 履修方法については、各研究科委員会の定めるところによる。</p> <p>4 第1項の規定にかかわらず、1年コースにおいては、次に定める単位数を修得しなければならない。</p> <p>外国語学研究科 博士前期課程 英語学専攻 英語教育専修コース 30単位以上 <u>経済学研究科 博士前期課程 経済・経営情報専攻 情報専修コース 36単位以上</u></p> <p>第11条～第47条 略</p> <p>別表I—1～別表IV—1—2 略 <u>別表IV—1—3</u> <u>経済学研究科博士前期課程 経済・経営情報専攻情報専修コース授業科目</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><u>演習科目</u></th> <th style="text-align: center;"><u>単位</u></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>アルゴリズムとデータベース演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> <tr> <td><u>マルチメディアシステム演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> <tr> <td><u>ビジネスゲーム演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> <tr> <td><u>データ解析演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> <tr> <td><u>応用統計解析演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> <tr> <td><u>意思決定と経営システム工学演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> <tr> <td><u>マーケティングサイエンス演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> <tr> <td><u>社会経済と情報システム演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> <tr> <td><u>マルチメディア広告演習</u></td> <td style="text-align: center;"><u>4</u></td> </tr> </tbody> </table>	<u>演習科目</u>	<u>単位</u>	<u>アルゴリズムとデータベース演習</u>	<u>4</u>	<u>マルチメディアシステム演習</u>	<u>4</u>	<u>ビジネスゲーム演習</u>	<u>4</u>	<u>データ解析演習</u>	<u>4</u>	<u>応用統計解析演習</u>	<u>4</u>	<u>意思決定と経営システム工学演習</u>	<u>4</u>	<u>マーケティングサイエンス演習</u>	<u>4</u>	<u>社会経済と情報システム演習</u>	<u>4</u>	<u>マルチメディア広告演習</u>	<u>4</u>
<u>演習科目</u>	<u>単位</u>																				
<u>アルゴリズムとデータベース演習</u>	<u>4</u>																				
<u>マルチメディアシステム演習</u>	<u>4</u>																				
<u>ビジネスゲーム演習</u>	<u>4</u>																				
<u>データ解析演習</u>	<u>4</u>																				
<u>応用統計解析演習</u>	<u>4</u>																				
<u>意思決定と経営システム工学演習</u>	<u>4</u>																				
<u>マーケティングサイエンス演習</u>	<u>4</u>																				
<u>社会経済と情報システム演習</u>	<u>4</u>																				
<u>マルチメディア広告演習</u>	<u>4</u>																				

新	旧																												
別表IV—2 略	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1167 220 1928 260">授業科目</th> <th data-bbox="1928 220 2011 260">単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1167 260 1928 292">アルゴリズムとデータベース</td> <td data-bbox="1928 260 2011 292">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 292 1928 323">マルチメディアシステム</td> <td data-bbox="1928 292 2011 323">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 323 1928 355">ビジネスゲーム</td> <td data-bbox="1928 323 2011 355">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 355 1928 387">ネットワークシステム</td> <td data-bbox="1928 355 2011 387">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 387 1928 419">情報とシステム</td> <td data-bbox="1928 387 2011 419">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 419 1928 451">社会経済と情報システム</td> <td data-bbox="1928 419 2011 451">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 451 1928 483">データ解析</td> <td data-bbox="1928 451 2011 483">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 483 1928 515">応用統計解析</td> <td data-bbox="1928 483 2011 515">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 515 1928 547">意思決定と経営システム工学</td> <td data-bbox="1928 515 2011 547">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 547 1928 579">情報メディアと社会</td> <td data-bbox="1928 547 2011 579">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 579 1928 611">マーケティングサイエンス</td> <td data-bbox="1928 579 2011 611">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 611 1928 643">マルチメディア広告</td> <td data-bbox="1928 611 2011 643">4</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1167 643 1928 675">教育工学</td> <td data-bbox="1928 643 2011 675">4</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1137 719 1653 751">○本表は平成22年度入学者より適用する。</p> <p data-bbox="1115 751 1305 783">別表IV—2 略</p>	授業科目	単位	アルゴリズムとデータベース	4	マルチメディアシステム	4	ビジネスゲーム	4	ネットワークシステム	4	情報とシステム	4	社会経済と情報システム	4	データ解析	4	応用統計解析	4	意思決定と経営システム工学	4	情報メディアと社会	4	マーケティングサイエンス	4	マルチメディア広告	4	教育工学	4
	授業科目	単位																											
	アルゴリズムとデータベース	4																											
	マルチメディアシステム	4																											
	ビジネスゲーム	4																											
	ネットワークシステム	4																											
	情報とシステム	4																											
	社会経済と情報システム	4																											
	データ解析	4																											
	応用統計解析	4																											
	意思決定と経営システム工学	4																											
	情報メディアと社会	4																											
	マーケティングサイエンス	4																											
	マルチメディア広告	4																											
教育工学	4																												